

凡斛斗秤尺ヲ偽造スル者ハ。流一等
從タル者。及ヒ匠人ハ。徒三年。

偽造私印

凡私印ヲ偽造スル者ハ。杖一百。財ヲ
得ル者ハ。贓ニ計ヘ。各盜罪ヲ以テ。重
キニ從テ論ス。

詐稱官

凡無官ニシテ。有官ト詐稱シ。或ハ官
司ノ差遣ト詐稱シテ。人ヲ捕ヘ。及ヒ
官員ノ姓名ヲ詐冒シテ。求爲スル所

凡斛斗ノ邊縁ヲ増補シ。秤量ノ標星
懸紐ヲ變換シテ。利ヲ圖ル者ハ。懲
役一年半。情輕キ者ハ。不應爲律ニ
問ヒ。輕重ヲ分ツ。

詐稱官條例

第二百五十九條 凡鄉貫名氏ヲ詐
稱シテ。客塵ニ宿スル者ハ。不應爲
輕ニ問フ。

アル者ハ。徒二年半。犯ス所輕キ者ハ。
杖七十。

若シ見任官ノ子孫弟姪家令等ト詐
稱シテ。求爲スル所アル者ハ。杖九十。
犯ス所輕キ者ハ。笞三十。從タル者ハ。
各一等ヲ減ス。

詐稱病死傷

若シ財ヲ得ル者ハ。贓ニ計ヘ。竊盜ニ
準シ。重キニ從テ論ス。罪。流三等ニ止ル。
凡官吏人等。疾病ト詐稱シ。事ニ臨テ
難ヲ避ル者ハ。笞三十。避ル所事重キ
者ハ。杖七十。

若シ罪ヲ犯シテ死スト詐稱シ。喚問
 ヲ免レントスル者ハ。徒一年半。避ル
 所事重キ者ハ。各重キニ從テ論ス。
 若シ人ト忿争シテ。故サテニ自ラ傷
 殘シ。人ニ詐頼スル者ハ。杖七十。其雇
 ヒヲ受ケ。人ノ爲ニ。傷殘スル者ハ。犯
 人ト同罪。因テ死ニ致ス者ハ。鬪殺罪
 ニ。一等ヲ減ス。
 若シ當該ノ官司。知テ聽行スル者ハ。
 同罪。罪流三等ニ止ル。知ラサル者ハ。
 坐セス。

詐教誘人犯

凡詐テ人ヲ教誘シテ。法ヲ犯サシ。ソ。
 卻テ自ラ捕獲シ。若クハ告擧シ。或ハ
 人ヲシテ。捕告セシムル者ハ。法ヲ犯
 スノ人ト同罪。

新律綱領 ○ 詐誘律

改定律例 ○ 詐誘律

<p>新律綱領</p>	<p>犯姦律</p>	<p>凡和姦ハ各杖七十。夫アル者ハ各徒三年。</p>	<p>若レ媒合及ヒ容止シテ通姦セシムル者ハ犯人ノ罪ニ一等ヲ減ス。</p>	<p>強姦スル者ハ流三等。未タ成ラサル者ハ一等ヲ減ス。因テ折傷スル者ハ。</p>	<p>絞婦女ハ坐セス。十二歳以下ノ幼女ヲ姦スル者ハ和ト雖モ強ト同ク論ス。</p>
<p>改定律例</p>	<p>改正犯姦律</p>	<p>第二百六十條 凡和姦夫アル者ハ各懲役一年。妾ハ一等ヲ減ス。若シ</p>	<p>媒合及ヒ容止シテ通姦セシムル者ハ犯人ノ罪ニ三等ヲ減ス。強姦スル者ハ懲役十年。未タ成ラサル者ハ一等ヲ減ス。因テ折傷スル者</p>	<p>ハ懲役終身。婦女ハ坐セス。十二歳以下ノ幼女ヲ姦スル者ハ和ト雖モ強ト同ク論ス。</p>	<p>モ強ト同ク論ス。</p>

新律綱領 ○犯姦律

改定律例 ○犯姦律

親族相姦

凡父祖ノ妻。姑。姊妹。及ヒ子孫ノ婦。兄弟ノ女ヲ姦スル者ハ。各流三等。強姦スル者ハ。斬。

若シ母ノ姉妹。及ヒ兄弟ノ妻。姪ノ妻ヲ姦スル者ハ。各流一等。強姦スル者ハ。絞。妻ヲ姦スル者ハ。各一等ヲ減ス。強姦スル者ハ。絞。

若シ前夫ノ女。同母異父姉妹ヲ姦スル者ハ。各徒三年。強姦スル者ハ。絞。

姦家長妻

親屬相姦

第二百六十一條 凡父祖ノ妻。伯叔。姑。姊妹。及ヒ子孫ノ婦ヲ姦スル者ハ。各懲役三年。強姦スル者ハ。懲役終身。若シ母ノ姉妹。及ヒ兄弟ノ妻。姪ノ妻ヲ姦スル者ハ。懲役二年。妻ヲ姦スル者ハ。各一等ヲ減ス。強姦スル者ハ。並ニ懲役終身。

若シ兄弟姉妹ノ女。及ヒ前夫ノ女。同母異父姉妹ヲ姦スル者ハ。各懲役一年。強姦スル者ハ。懲役終身。

姦家長妻

凡奴僕雇人。家長ノ妻ヲ姦スル者ハ。流三等。姦婦ハ。徒三年。強姦スル者ハ。斬。

若シ家長ノ女。姉妹。及ヒ姑。若シハ兄弟ノ妻ヲ姦スル者ハ。流一等。婦女ハ。凡姦ヲ以テ論ス。強姦スル者ハ。絞。妻ヲ姦スル者ハ。各一等ヲ減ス。強姦スル者ハ。絞。

姦部民妻女

凡官吏。所部内ノ妻女ヲ姦スル者ハ。凡姦罪ニ。二等ヲ加フ。婦女ハ。凡姦ヲ以テ論ス。

第二百六十二條 凡雇人。家長ノ妻ヲ姦スル者ハ。各懲役一年半。強姦スル者ハ。懲役終身。

姦部民妻

第二百六十三條 凡官吏。部民ノ妻ヲ姦スル者ハ。懲役一年半。相姦スルノ妻ハ。懲役一年。

七年五月十三日
 省第十次
 號布達
 今般犯
 毒ノ儀
 二付左
 於當省
 議定ス
 凡毒事
 他人ノ
 指稱ニ
 係ル者
 ハ論ス
 勿

ル。窩主ハ懲役四十日。婦女及ヒ媒 合容止スル者ハ一等ヲ減ス。若シ 父母ノ指令ヲ受ル者ハ罪ヲ其父 母ニ坐シ。婦女ハ坐セス。	第二百六十八條 凡僧尼ノ毒ヲ犯 ス者ハ凡毒罪ヲ以テ論ス。	増加 六年七月廿八日 第二百七十三號御布告 凡毒妾ヲ縱容シテ人ト通毒セシム ル者ハ本夫毒夫毒婦各懲役一年。 因テ財ヲ圖ル者ハ枉法ニ準シ重 キニ從テ論ス。	増加 六年十月十七日 第三百四十九號御布告
---	---------------------------------	--	---------------------------------

新律綱領 ○犯毒律

強毒死ニ致ス者ハ斬。

改定律例 ○犯毒律

新律綱領

雜犯律

拆毀揭榜場

凡揭榜場ヲ拆毀シ及ヒ板榜ヲ毀スル者ハ徒三年。

販賣鴉片烟

凡鴉片烟ヲ販賣シテ利ヲ圖ル者首ハ斬從ハ流三等。

若シ人ヲ引誘シテ吸食セシムル者ハ絞從及ヒ情ヲ知り湯屋ヲ給スル者ハ流三等引誘セラレテ吸食スル者ハ徒一年。

新律綱領 ○ 雜犯律

改定律例

雜犯律

改定律例 ○ 雜犯律

七年四月二十日
 五省司法官
 八號
 賭博法
 企行未
 及ハ博
 サル者
 及ヒ博

若シ販買シテ未タ售賣セサル者首
 ハ流三等從ハ徒三年買食スル者ハ
 徒二年半並ニ鴉片烟ハ官ニ没入ス
 若シ官吏知テ舉セサル者ハ同罪罪
 流三等ニ止ル財ヲ受ル者ハ枉法ヲ
 以テ重ニ從テ論ス

賭博

凡財物ヲ賭シ博戲ヲ爲ス者ハ皆杖
 八十賭場ノ財物ハ官ニ入ル其賭房
 ヲ開張スル人ハ其列ニ與ラスト雖
 モ同罪飲食ヲ賭スル者ハ論スルコ
 勿レ

賭博條例

第二百六十九條 凡賭博三犯以上
 ハ懲役一年
 第二百七十條 凡賭場現在ノ財物
 ハ官ニ入ルト雖モ其田宅等不動
 産ニ係ル者ハ原主ニ還付シ官ニ

戲ノ爲
 ニ散子
 骨牌ヲ
 持スル
 者ハ情
 ヲ量リ
 違式輕
 重ニ問
 ヒ並ニ
 贖ヲ聽
 ス

若シ産業無クシテ常ニ腰刀ヲ挾帶
 シ無賴ノ徒ヲ招結シ賭場ヲ開張シ
 四鄰ニ横行スル者ハ皆流一等

囑託公事

凡法令ヲ曲ケンコトヲ欲シ公事ヲ囑
 託スル者ハ已レノ爲ニシ人ノ爲ニ
 スルコトヲ論セス答四十當該ノ官吏

入ルノ限ニ在ラス

第二百七十一條 凡博戲ニ用フル
 骰子骨牌ヲ賣ル者ハ賭博者ト同
 罪再犯ハ一等ヲ加ヘ三犯以上ハ
 懲役一年

第二百七十二條 凡賭博ノ列ニ與
 ラスト雖モ母錢ヲ借シ息ヲ收ル
 者ハ犯人ト同罪

新律綱領 ○雜犯律

改定律例 ○雜犯律

聽従スル者ハ同罪。聽従セサル者ハ坐セス。若シ事已ニ施行スル者ハ杖九十枉ル所。罪重キ者官吏ハ故出入人罪律ヲ以テ論ス。若シ他人及ヒ親屬ノ爲ニ囑託シテ枉ル所。罪笞四十ヨリ重キ者ハ當該官吏ノ罪ニ三等ヲ減ス。自己ノ事ヲ囑託スル者ハ坐スヘキ本罪ニ一等ヲ加フ。若シ法ヲ曲ケ賊ヲ受ル者ハ賊ニ計ヘ枉法ヲ以テ論ス。

失火

凡火ヲ失シテ自己ノ宅舎ニ燒ク者

失火條例

第二百七十三條 凡太廟及ヒ山陵

ハ笞二十人ノ宅舎ニ延燒スル者ハ笞四十罪。止夕火ヲ失スル人ヲ坐ス。若シ太廟及ヒ宮闕内ニ於テ火ヲ失スル者ハ流三等。山陵ノ兆域内ハ徒一年。公廨及ヒ倉庫内ハ杖一百。主守ノ人因テ財物ヲ侵欺スル者ハ賊ニ計ヘ。監守自盜ヲ以テ論ス。其外ニ在リ。火ヲ失シテ延燒スル者ハ各三等ヲ減ス。其官殿及ヒ倉庫ヲ守衛シ。若クハ囚ヲ掌ル者。火ノ起ルヲ見テハ所守ヲ離ル。一ヲ得ス。違フ者ハ杖七十。

内ニ於テ火ヲ失スル者ハ律ニ依リ罪ヲ科スルノ外。官幣國幣大社ハ山陵ト同シテ論シ。中社ハ懲役百日。小社ハ懲役九十日。府縣社ハ懲役七十日。鄉社ハ懲役六十日。延燒スル者ハ各本罪ニ三等ヲ減ス。減シテ人ノ宅舎ヲ延燒スルヨリ。輕ク。若クハ等キハ並ニ一等ヲ加フ。第二百七十四條 凡稅居人火ヲ失シテ其家ヲ燒ク者ハ自己宅舎ヲ燒クニ一等ヲ加フ。

放火

凡火ヲ放テ。故サラニ公廨倉庫。及ヒ民舍ヲ燒ク者ハ。皆斬。未タ燒燬ニ至ラサル者ハ。流三等。

懲役三年。若シ盜罪重キ者ハ。重キニ從テ論ス。

放火條例

第二百七十八條 凡火ヲ放テ。人ノ空間房屋。及ヒ田場積聚ノ物ヲ燒ク者ハ。懲役七年。未タ燒燬ニ至ラサル者ハ。懲役三年。

第二百七十九條 凡火ヲ放テ。故ラニ自己ノ房屋ヲ燒ク者ハ。懲役九十月。未タ燒燬ニ至ラサル者ハ。一等ヲ減ス。若シ期セスシテ。公廨倉庫。及ヒ民舍ヲ延燒スル者ハ。懲役

二年半。因テ財ヲ盜ム者ハ。懲役終身。

第二百八十條 凡火ヲ放テ。人ノ空間房屋ヲ燒キ。期セスシテ。人ノ宅舍ニ延燒スル者ハ。懲役十年。

第二百八十一條 凡火ヲ放テ。人ノ宅舍ヲ燒キ。未タ燒毀ニ至ラサル者。律ニ照シ。懲役十年ニ處スル外。若シ雇人等。家長ノ督責ニ苛迫シ。一時脫身ヲ圖リ。纔ニ火ヲ放チ。未タ燒毀ニ至ラサル者ハ。情ヲ量テ三等ヲ減シ。懲役三年。

九年四月十九日
 第五號
 御布告
 新律細

費用受寄財産

<p>凡他人ヨリ財物畜産ノ寄託ヲ受ケ。輒ク費用スル者ハ。坐贓ヲ以テ論シ。一等ヲ減ス。罪徒二年半ニ止ル。死失ト詐言スル者ハ。竊盜ニ。二等ヲ減シ。罪徒三年ニ止ル。並ニ物ヲ追シテ。主ニ還ス。其水火盜賊ニ費失セラレ。及ヒ畜産病死スル者ハ。論スルノ勿レ。</p>	<p>得遺失物 凡遺失ノ物ヲ得レハ。必ス官ニ送ルヘシ。官物ハ。全ク官ニ入レ。私物ハ。一半ヲ其主ニ給シ。一半ヲ得ル人ニ給ス。</p>	<p>得遺失物條例 第二百八十二條 凡水中沈没ノ物ヲ得レハ。遺失物ヲ得ルヲ以テ論ス。</p>
--	--	---

領得遺失物律
 左ノ通
 改正律
 例第八十二條
 第二百八十二條
 第二百八十五條
 第二百八十八條
 第八十二條
 第八十五條
 第八十八條
 候事
 官布告

<p>ス。如シ三十日內ニ。其主ナケレハ。全ク給ス。若シ官ニ送ラサル者。官物ハ。坐贓ヲ以テ論シ。物ヲ追シテ。官ニ還ス。私物ハ。一等ヲ減シ。主アルハ。物ヲ追シテ。主ニ給シ。主ナキハ。官ニ入レ。若シ官私地内ニ於テ。埋藏ノ物ヲ掘得ル者ハ。並ニ官ニ送り。地主ト中分セシム。隠シテ送ラサル者ハ。主ニ分ツ可キノ数ヲ計ヘ。坐贓ヲ以テ論シ。一等ヲ減ス。仍ホ地主ト中分セシム。</p>	<p>第二百八十三條 凡遺失物ヲ得ルニ。物品。盜賊ニ係ルト雖モ。私物ナレハ。一半ヲ其主ニ給シ。一半ヲ得ル人ニ給ス。</p>	<p>第二百八十四條 凡官吏。遷卒。遺失物ヲ得レハ。所部内外ヲ問ハス。主アルハ。全ク其主ニ還ス。如シ三十日內ニ。其主ナケレハ。得ル者ニ給ス。</p>	<p>第二百八十五條 凡一切應禁ノ物ヲ得レハ。遺失。及ヒ埋藏。若クハ。沈没ヲ分タス。一體ニ官ニ没入ス。</p>
--	---	--	---

新律綱領 ○雜犯律

改定律例 ○雜犯律

新律綱領

捕亡律

追捕罪人

凡捕吏差遣ヲ承ケ。罪人ヲ追捕スルニ。事故ニ託シテ行カス。若クハ罪人ノ所在ヲ知テ。捕ヘサル者ハ。杖一百。若シ財ヲ受ケ。故縱スル者ハ。囚ト同罪。賊重キ者ハ。賊ニ計ヘ。枉法ヲ以テ。重キニ從テ論ス。

罪人拒捕

凡罪ヲ犯シテ逃走シ。追捕ヲ拒ク者

新律綱領 ○捕亡律

改定律例

捕亡律

追捕罪人條例

第二百九十二條 凡捕吏。正犯ノ財ヲ受ケ。故縱スル同罪者。正犯。死ニ至レハ。同罪者ハ。絞ニ處スル律ヲ改メ。懲役終身ニ從フト雖モ。其財ヲ受スシテ。故縱シ。及ヒ通信シテ。逃避セシムル同罪者ハ。罪。懲役十年ニ止ル。

改正

十年三月二日
第二十五号御布告

捕吏ヲ毆テ。折傷以上ニ至ル者ハ。絞

改定律例 ○捕亡律

ハ。各本罪上ニ二等ヲ加ヘ。罪。流三等 ニ止ル。本罪死スヘキ者ハ。常律ニ依 ル。捕吏ヲ毆チ。折傷以上ニ至ル者ハ。 絞殺ス者ハ。斬。從タル者ハ。各一等ヲ 減ス。	改テ懲役終身。
若シ罪人。兇器ヲ持シ。拒捕スルニ。捕 吏之ヲ格殺シ。及ヒ囚逃走スルニ。捕 吏之ヲ逐殺シ。若クハ囚追逐ニ因テ 窘迫シ。自殺スル者ハ。並ニ論スル 勿レ。	
若シ罪囚。逃走スト雖モ。己ニ拘執ニ 就キ。及ヒ拒捕セサルニ。捕吏之ヲ殺	

シ。或ハ折傷スル者ハ。各關殺傷ヲ以 テ論ス。若シ死罪ニ該ル罪人ヲ。捕吏 一時忿激シテ。擅殺スル者ハ。杖九十。 獄囚脱監及反獄逃走	獄囚脱監及反獄逃走條例
凡罪ヲ犯シ。囚禁セラレテ。脱監。及ヒ 越獄シテ。逃走スル者ハ。各本罪上ニ。 二等ヲ加ヘ。罪。流三等ニ止ル。本罪。死 スヘキ者ハ。常律ニ依ル。	第二百九十三條 凡脱監及ヒ越獄 シテ。逃走スル者ハ。各本罪上ニ。二 等ヲ加ヘ。罪。流三等ニ止ル律ヲ改 メ。懲役終身ニ止ル。
若シ罪囚。反獄シテ。逃者スル者ハ。皆 斬。同牢ノ囚人。反情ヲ知ラサル者ハ。 坐セス。	第二百九十四條 凡反獄シテ。逃走 スル者ハ。皆斬ニ處スル律ヲ改メ 首ハ。斬。從ハ。懲役終身。
其罪囚。水火震災ノ變ニ因テ逸出シ。	第二百九十五條 凡罪囚糾合シテ

新律綱領 ○捕亡律

改定律例 ○捕亡律

投歸スル者ハ。斬絞以下。各一等ヲ減ス。

越獄スルニ。從ハス。實ニ握テ首報シ。因テ罪囚即時ニ獲ニ就キ。脱逃ヲ致サ、ルコトヲ得ル者。及セ反獄ノ情ヲ知テ。首報スル者ハ。斬絞以下。各本罪ニ。一等ヲ減ス。

第二百九十六條 凡脱監。及ヒ越獄シテ。逃走スル者。再逃以上ハ。又二等ヲ累加シ。罪。懲役絞身ニ止ム。懲役場ヲ逃走シ。又監獄ヲ脱越スル者。罪。亦同。

第二百九十七條 凡犯人。責付内ニ。逃走スル者ハ。本罪ニ。一等ヲ加フ。

徒流人逃

凡徒流ノ囚人。役限未タ満スシテ。逃走スル者ハ。杖七十。仍ホ配所ニ發シ。其徒流原犯ノ年限ニ照シテ。新ニ拘役シ。已ニ役過セシ月日ハ。並ニ通算セス。再ヒ逃走スル者ハ。絞。若シ已ニ断決セシ。徒流ノ罪囚ヲ發遣シ未タ配所ニ到ラス。中途ニシテ逃走スル者モ。罪。亦同。

若シ囚禁。及ヒ責付内ニ。逃走シテ。自首スル者ハ。止タ本罪ヲ科シテ。逃罪ヲ免ス。

懲役人逃條例 原徒流人逃律

第二百九十八條 凡懲役一年以上ノ囚人。限内。逃走スル者ハ。杖七十。改テ棒鎖二日。再ヒ逃走スル者ハ。絞。改テ懲役終身。

第二百九十九條 凡懲役百日以下ノ囚人。限内。逃走スル者ハ。棒鎖一日。仍ホ原犯ノ日限ニ照シテ。新ニ拘役シ。再ヒ逃走スル者ハ。棒鎖二

若シ主守及ヒ押解人罪囚ノ逃走スルヲ覺ラサル者ハ一名ニ答四十。一名毎トニ。一等ヲ加ヘ。罪杖一百ニ止ル。故縱スル者ハ各囚ト同罪。罪流三等ニ止ル。財ヲ受ル者ハ賊ニ計ヘ。枉法ヲ以テ重キニ從テ論ス。	日。更ニ懲役一年ニ入ル。若シ外ニ在テ。又百日以下ノ罪ヲ犯セハ。原犯後犯ヲ通算シテ。新ニ拘役ス。其一年以上ノ罪ヲ犯ス者ハ。止タ後犯ノ年限ニ照シテ。更ニ科断ス。
改正 七年二月七日 第十六号御布告	第三百條 凡懲役一年以上ノ囚人。逃走スル者ハ。例ニ照シ。棒鎖二日。仍ホ原犯ノ年限ニ照シテ。新ニ拘役スト。雖モ。若シ逃走シ外ニ在テ。又三年以下ノ罪ヲ犯セハ。後犯ノ年限ニ。原犯ノ年限ヲ合セテ。拘役スルモ。亦四年ニ過ルコトヲ得ス。百
主守及ヒ押解人罪囚ノ逃走ヲ覺ラサル者ハ。一名ニ答四十。一名毎ニ一等ヲ加ヘ。罪杖一百ニ止ルノ律ヲ改メテ。未決ノ罪囚ト同シク。主守不覺失囚律ニ依ル。	逃走スル者ハ。例ニ照シ。棒鎖二日。仍ホ原犯ノ年限ニ照シテ。新ニ拘役スト。雖モ。若シ逃走シ外ニ在テ。又三年以下ノ罪ヲ犯セハ。後犯ノ年限ニ。原犯ノ年限ヲ合セテ。拘役スルモ。亦四年ニ過ルコトヲ得ス。百

日以下ノ罪ヲ犯ス者モ。亦原犯ニ合セテ拘役ス。其五年以上ノ罪ヲ犯ス者ハ。止タ後犯ノ年限ニ照シテ。科断ス。	日以下ノ罪ヲ犯ス者モ。亦原犯ニ合セテ拘役ス。其五年以上ノ罪ヲ犯ス者ハ。止タ後犯ノ年限ニ照シテ。科断ス。
第三百一條 凡懲役五年以上ノ囚人。限内逃走スル者モ亦例ニ照シテ。棒鎖二日仍ホ原犯ノ年限ニ照シテ。新ニ拘役スト。雖モ。若シ逃者シ外ニ在テ。重テ五年以上。十年以下ノ罪ヲ犯ス者ハ。並ニ拘役四年ヲ加フ。其一年以上三年以下ノ罪ヲ犯ス者ハ。後犯ノ年限ヲ折半	日以下ノ罪ヲ犯ス者モ。亦原犯ニ合セテ拘役ス。其五年以上ノ罪ヲ犯ス者ハ。止タ後犯ノ年限ニ照シテ。科断ス。

スルトキハ。一等ヲ減ス。故縦スル者ハ。各囚ト同罪。罪流三等ニ止ル。	ハ懲役三十日。
若シ未タ斷決セサルノ間。自ラ捕獲シ。及ヒ他人捕得シ。若クハ囚已ニ死シ。及ヒ自首スレハ。各一等ヲ減ス。財ヲ受ル者ハ。贓ニ計ヘ。枉法ヲ以テ。重キニ從テ論ス。	第三百九條 凡主守。囚ノ逃走ヲ覺ラサル者ハ。捕限三十日ヲ給シ。追捕セシム。限内。捕得スレハ。二等ヲ減ス。其故縦スル者ハ。捕限ヲ給セス。
若シ賊外ヨリ獄ニ入り。罪囚ヲ却スニ。防禦スト雖モ。力敵スルト能ハサル者ハ。論スルト勿レ。	第三百十條 凡保管人。囚ノ逃走ヲ覺ラサル者ハ。主守不覺失囚律ニ。二等ヲ減ス。
藏匿罪人	藏匿罪人條例
凡他人罪ヲ犯シ。事發シテ。官司人ヲ	第三百十一條 凡官司人ヲ差ハシ。

差ハシ。追喚スルヲ知り。家ニ藏匿シテ。捕告ヲ行ハス。及ヒ逃走スル道路ヲ指引シ。衣糧ヲ資給シ。送テ他所ニ隱避セシムル者ハ。各罪人ノ罪ニ。一等ヲ減ス。其輾轉シテ相送り。罪人ヲ隱匿スル者。情ヲ知ル者ハ。皆坐ス。知ラサル者ハ。論スルト勿レ。	追喚スル罪人タルヲ知テ。爲ノニ。藏匿指引シテ。隱避セシムル者ハ。各罪人ノ罪ニ。二等ヲ減スル律ヲ改メ。減ニ從フ。若シ罪人未タ官司ノ追喚ニ係ラス。若クハ。已ニ追喚スル者ト雖モ。未タ知ラスシテ。藏匿隱避セシムル者ハ。俱ニ情ヲ量テ。不應爲ニ問ヒ。輕重ヲ分ツ。
若シ官司ノ追捕ヲ偵知シテ。其事情ヲ漏泄シ。罪人ヲシテ。隱避セシムル者モ。罪人ノ罪ニ。二等ヲ減ス。未タ斷決セサルノ間。自ラ捕獲スル者ハ。罪ヲ免ス。若シ他人捕得シ。及ヒ罪人已	

ニ死シ若クハ自首スレハ又各一等ヲ減ス。
 其罪人ニ追切セラレガ制スルヲ能ハス。已ムコトヲ得スレテ。戴匿スル者ハ三等ヲ減ス。

新律綱領目録	改定律例目録
斷獄律 計一十一條	斷獄律 計七條 增補計一條
故禁無罪人	
陵虐罪囚	
與囚金刃	與囚金刃 二條
教囚翻異	
老幼不拷訊	
獄囚誣指無罪人	
出入人罪	出入人罪 二條
笞杖不如法	
婦人犯罪	
死囚奏請待報	死囚奏請待報 一條

新律綱領目録

斷獄律 計一十一條

故禁無罪人	
陵虐罪囚	
與囚金刃	與囚金刃 二條
教囚翻異	
老幼不拷訊	
獄囚誣指無罪人	
出入人罪	出入人罪 二條
笞杖不如法	
婦人犯罪	
死囚奏請待報	死囚奏請待報 一條

改定律例目録

斷獄律 計七條 增補計一條

新律綱領 ○ 斷獄律目録

改定律例 ○ 斷獄律目録

ニ拷訊スル者ハ。同罪。罪流三等ニ止ル。知ラサル者ハ。坐セス。

陵虐罪囚

凡獄卒。非理ニ在獄ノ罪囚ヲ。陵虐毆傷スル者ハ。凡鬪傷ニ依テ論ス。罪囚ノ衣食ヲ。減減スル者ハ。職ニ計ヘ。監守自盜ヲ以テ論ス。囚テ死ニ致ス者ハ。絞司獄官吏知テ舉セサル者ハ。同罪。罪流三等ニ止ル。

與囚金刃

凡獄卒。金刃。及ヒ他物ノ自殺スヘク。及ヒ解脫スヘキ器具ヲ以テ。囚ニ與

與囚金刃條例

第三百十二條 凡常人囚ニ金刃ヲ與ヘ。及ヒ子孫。祖父母。父母ニ與ヘ。

スル者。杖一百。囚ヲ逃走シ。及ヒ自傷シ。或ハ人ヲ傷スルトヲ致ス者ハ。徒一年。若シ囚自殺シ。及ヒ人ヲ殺ス者ハ。徒二年。

若シ財ヲ受ル者ハ。職ニ計ヘ。枉法ヲ以テ。重キニ從テ論ス。

教囚翻異

凡司獄官。獄卒。罪囚ニ教令シテ。事情ヲ翻異。變亂セシメ。及ヒ爲ニ。言語ヲ外人ニ通傳シ。其罪ヲ増減スル者ハ。故出入人罪律ヲ以テ論ス。外人ノ犯

雇人。家長ニ與フル者ハ。各獄卒ノ罪。一等ヲ減ス。

第三百十三條 凡獄卒。金錢。其他應禁ノ物ヲ傳遞シテ。囚ニ與フル者ハ。

違令。重ニ問フ。若シ財ヲ受ル者ハ。職ニ計ヘ。枉法ヲ以テ。重キニ從テ論ス。

ス者ハ。一等ヲ減ス。若シ財ヲ受ル者ハ。並ニ贓ニ計ヘ。枉法ヲ以テ重キニ從テ論ス。

老幼不拷訊

凡年七十以上十五以下。若クハ廢疾者ハ。並ニ拷訊ス可カラズ。皆衆證ニ據テ罪ヲ定ム。違フ者ハ。故失入人罪律ヲ以テ論ス。其相容隱スルトテ得ルノ人。及ヒ年八十以上十歲以下。若クハ篤疾者ハ。皆證タラシムルコトヲ得ス。違フ者ハ。皆四十。

獄囚誣指無罪人

凡罪囚獄ニ在テ。無罪人ヲ誣指スル者ハ。誣告ヲ以テ論シ。其本犯罪重キ者ハ。重キニ從テ論ス。

若シ官吏獄囚ヲ鞫問スルニ。非法ニ拷訊シ。故サラニ教令ヲ行ヒ。無罪人ヲ誣指スル者ハ。故入人罪律ヲ以テ論ス。

若シ囚ヲ鞫レテ。證佐ノ人。實情ヲ言ハス。故サラニ誣證ヲ行フ者ハ。罪人ノ罪ニ。二等ヲ減ス。

出入人罪

凡官吏故サラニ人ヲ罪ニ出入シ。全

出入人罪條例

第三百十四條 凡故ラニ出入シ。及

新律綱領 ○斷獄律

改定律例 ○斷獄律

ク出タル。全ク入ル、者ハ。出入スル	ヒ入ル、ニ失スル罪人ハ。已ニ斷
所ノ全罪ヲ以テ論ス。若シ故サレニ	了ヲ經ルト雖モ。檢舉シテ。改正ス
輕ヲ増シテ。重ト作シ。重ヲ減シテ。輕	ルトヲ得ヘキ者ハ。改正シ。其出タ
ト作ス者ハ。其増減スル所ノ罪ヲ以	スニ失スル者ハ。貼斷スルトヲ用
テ坐ス。死ニ至ル者ハ。坐スルニ。死罪	ヒス。
ヲ以テス。	第三百十五條 凡官司。屍傷ヲ檢視
若シ罪ヲ斷シテ。入ル、ニ失スル者	シテ。實ナラサル者ハ。懲役四十日。
ハ。各三等ヲ減ス。出タスニ失スル者	因テ罪ニ増減アル者ハ。失出入人
ハ。各五等ヲ減ス。並ニ罪所由ヲ以テ。	罪ヲ以テ論ス。若シ財ヲ受ケ。故ラ
首ト爲ス。	ニ實ヲ以テセサル者ハ。故出入人
若シ囚未ニ處決放免セス。及ヒ放テ	罪ヲ以テ論ス。贓重キ者ハ。贓ニ計
邊モ復若シ囚自死スレハ。官吏ノ	ヘ。枉法ヲ以テ。重キニ從テ論ス。

罪又各二等ヲ減スルヲ聽ス。	一罰志ハ。重キニ從テ論ス。
管杖不如法	罪ノ輕重ハ。管杖ノ如クセサル者ハ。管三十。因テ死ニ致
凡官吏管杖ヲ用ルニ。故サレニ法ノ	ス者ハ。杖一百。埋葬金二十五兩ヲ追
如クセサル者ハ。管三十。因テ死ニ致	徴ス。管杖ヲ行フノ人ハ。各一等ヲ減
ス者ハ。杖一百。埋葬金二十五兩ヲ追	シ。金兩ヲ追徴セス。若シ罪人ノ臀腰。
徴ス。管杖ヲ行フノ人ハ。各一等ヲ減	刑ヲ受クヘキ處ヲ。法ニ依リ決打シ
シ。金兩ヲ追徴セス。若シ罪人ノ臀腰。	テ。邂逅ニ死ニ致ス者ハ。論スルト勿
刑ヲ受クヘキ處ヲ。法ニ依リ決打シ	
テ。邂逅ニ死ニ致ス者ハ。論スルト勿	
レ。	
婦人犯罪	
凡婦人輕罪ヲ犯スハ。本夫ニ責付シ	

新律例 ○ 斷獄律

改定律例 ○ 斷獄律

テ。保管セシム。如シ夫ナキ者ハ。親屬	鄰保ニ責付シテ。保管セシム。重罪ハ。	禁獄スルヲ許ス。違フ者ハ。笞三十。	若シ婦人懷孕シテ。罪ヲ犯シ。拷訊ス	ヘキ者ハ。上條ノ如ク。保管シ。産後一	百日ヲ待テ。拷訊スヘシ。若シ未タ産	セサルニ。拷訊スル者ハ。杖九十。因テ	墮胎スル者ハ。徒一年半。死ニ致ス者	ハ。流三等。	若シ懷孕ノ死囚ハ。穩婆ニ看視セシメ	テ。後ニ監察ス。産ノ期ニ臨メハ。親屬	鄰保ニ責付シ。産後一百日ヲ待テ。乃

刑ヲ行フ。未タ産セスシテ。決スル者	ハ。徒一年半。産シ訖ルモ。日限未タ満	スシテ。決スル者ハ。杖八十。失誤スル	者ハ。各三等ヲ減ス。	死囚奏請待報	凡死囚ヲ奏請シ。回報ヲ待タス。輒ク	處決スル者ハ。杖七十。	若シ禁刑ノ日ニ於テ。決スル者ハ。笞	三十。	斷罪不當	凡罪ヲ斷シテ。決配ス可キヲ。故サテ	ニ收贖シ。收贖ス可キヲ。決配スル者
				死囚奏請待報條例	第三百十六條 凡獄已ニ成リ。罪。死	ニ該ル者ヲ奏請シ。待報内ニ在テ。	死亡スルニ。遺骸ハ。親屬請フ者ア	レハ。下付スルヲ聽ス。	斷罪不當條例	第三百十七條 凡收贖ス可キヲ。誤	テ實斷スル者。改正スルヲ得ヘ

新律綱領 ○斷獄律

改定律例 ○斷獄律

ハ。故出入人罪律ニ依テ。一等ヲ減ス。
 失誤スル者ハ。失出入人罪律ニ依テ。
 一等ヲ減ス。
 若シ絞ス可キヲ。故サラニ斬シ。斬ス
 可キヲ。絞スル者ハ。答五十。失誤スル
 者ハ。三等ヲ減ス。

新律綱領終

キ者ハ。改正シ。其實斷ス可キヲ。誤
 テ收贖スル者ハ。貼斷スルコトヲ用
 ヒス。

第三百十八條 凡罪ヲ斷スルハ。口
 供結案ニ依ル。若シ甘結セスシテ。
 死亡スル者ハ。證佐アリト雖モ。其
 罪ヲ論セス。

改正 九年六月十日
 第八十六號御布告

凡罪ヲ斷スルハ。證ニ依ル。若シ未タ
 斷決セスシテ。死亡スル者ハ。其罪
 ヲ論セス。

改定律例終

增 新律綱領附録目錄
 補 改定律例

讒謗律

官吏懲戒例

華族懲戒例

遺失物取扱規則

斷罪證據

新律綱領 改定律例 ○附録目錄

增新律綱領附錄
改定律例

○ 讒謗律 明治八年六月二十八日
第一百十號御布告ヲ以テ制定

第一條 凡ソ事實ノ有無ヲ論セス。人ノ榮譽ヲ害スヘキノ行事ヲ摘發公
布スル者之ヲ讒謗トス。人ノ行事ヲ舉ルニ非スルテ惡名ヲ以テ人ニ加
ヘ。公布スル者之ヲ誹謗トス。著作文書若クハ畫圖省像ヲ用ヒ。展觀シ。若
クハ發賣シ。若クハ貼示シテ。人ヲ讒毀シ。若クハ誹謗スル者ハ。下ノ條例
ニ從テ。罪ヲ科ス。

第二條 第一條ノ所爲ヲ以テ。乘輿ヲ犯スニ涉ル者ハ禁獄三月以上。三年
以下。罰金五十圓以上。千圓以下。二罰并セ科シ。或ハ編ヘニ
一罰ヲ科ス。以下之ニ倣ヘ。

第三條 皇族ヲ犯スニ涉ル者ハ。禁獄十五日以上。二年半以下。罰金十五圓
以上。七百圓以下。

新律綱領 改定律例 ○附錄

第四條 官吏ノ職務ニ關シ。讒毀スル者ハ。禁獄十日以上。二年以下。罰金十圓以上。五百圓以下。誹謗スル者ハ。禁獄五日以上。二年以下。罰金五圓以上。三百圓以下。

第五條 華士族平民ニ對スルヲ論セス。讒毀スル者ハ。禁獄七日以上。一年半以下。罰金五圓以上。三百圓以下。誹謗スル者ハ。罰金三圓以上。百圓以下。

第六條 法ニ依リ。檢官若クハ法官ニ向テ。罪犯ヲ告發シ。若クハ證スル者ハ。第一條ノ例ニアラス。其ノ故造誣告シタル者ハ。誣告律ニ依ル。

第七條 若シ讒毀ヲ受ルノ事。刑法ニ觸ル、者。檢官ヨリ。其事ヲ糾治スルカ。若クハ讒毀スル者ヨリ。檢官若クハ法官ニ告發シタル時ハ。讒毀ノ罪ヲ治ムルコトヲ中止シ。以テ事案ノ決ヲ候テ。其ノ被告人罪ニ坐スル時ハ。讒毀ノ罪ヲ論セス。

若シ事。刑法ニ觸レスシテ。單ヘニ人ノ榮譽ヲ害スル者ハ。讒毀スルノ後。官ニ告發スト雖モ。仍ホ讒毀ノ罪ヲ治ス。

第八條 凡ソ讒毀誹謗ノ第四條第五條ニ係ル者ハ。被害ノ官民。自ラ告ルヲ待テ。乃ハチ論ス。

○官吏懲戒例 九年四月十四日第三十四號御布告ヲ以テ制定シ同日第
四十八號ヲ以テ。新律綱領改定律例中官吏ノ公罪ニ係ル
者ヲ廢シ。自今官吏職務上ノ過失ハ。有心故造私罪ニ入ル者ヲ除ク
ノ外。其本屬長官ニ任シテ。懲戒處分セシム。

第一條 自今私罪ヲ除クノ外ハ。官吏職務上ノ過失ハ。本屬長官ニ於テ懲
戒ノ權ヲ有スヘシ。

第二條 懲戒ノ法三種トス。第一。譴責。第二。罰俸。第三。免職。

第三條 譴責ハ。懲戒ノ輕キモノトシテ。本屬長官ヨリ。譴責書ヲ附ス。

第四條 罰俸ハ。半月ヨリ少カラス。三月ヨリ多カラサル間。俸ヲ奪フ。俸

ヲ追スルノ法ハ。毎月給俸ノ半ヲ領置シ。數滿テ大藏省ニ送付ス。

第五條 懲戒ヲ以テ免職スル者ハ。本屬長官ノ意見ニ從ヒ。其奏任ハ。具狀奏請シテ。之ヲ免シ。位記ヲ返上セシム。

但懲戒ニ由ルニ非シテ。免職スル者ハ。長官旨ヲ諭シ。本人ヨリ辭職ノ願ヲ差出サシメ。然後免許ス可シ。

第六條 諸省長官ハ。所屬奏判任官ヲ懲戒ス。

第七條 府縣奏任官ハ。太政大臣之ヲ懲戒ス。府縣並警視廳判任官ハ。其長官之ヲ懲戒ス。

第八條 四等以下ノ判事ハ。司法卿之ヲ懲戒ス。府縣官判事ヲ兼ル者ノ。其所屬判任官ニ於ルハ。他ノ奏任以上。府縣官ノ協議ヲ得タル後。之ヲ懲戒ス。

第九條 府縣長官。警視長官。其所屬判任官ヲ懲戒スルニ。其譴責ヲ專行ス。

ルヲ得ルヲ除クノ外。其罰俸免職ヲ行フハ。便宜處分シテ。速ニ内務卿ニ届出シ。

府縣官判事ヲ兼ル者。其所屬判任官ノ罰俸免職ヲ行フハ。便宜處分シテ。速ニ司法卿ニ届出シ。

第十條 其有心故造。私罪ニ入ル者ハ。職務上ノ罪ト雖モ。之ヲ司法官ニ移シ。本屬長官。專ニ處分スルヲ得ス。

○華族懲戒例 十年五月十九日御布告

第一條 華族ハ。國民中。貴重ノ地位ニ居ル故ニ。其過失。或ハ體面ヲ汚スモノハ。假令法律ニ觸レサルモ。仍ホ之ヲ懲戒ス。

第二條 懲戒ノ法。三種トス。第一。譴責。第二。謹慎。第三。蟄居。

第三條 譴責ハ。懲戒ノ輕モノニシテ。宮内卿ヨリ譴責書ヲ下行ス。

第四條 謹慎ハ十日ヨリ少カラス。百日ヨリ多カラス間。外出ヲ禁シ。門戸ヲ鎖シ。等親ヲ除クノ外面會ヲ許サス。其事情ノ重キ者ハ。位階ノ降級スルヲモアルヘシ。

第五條 蟄居ハ。位記ヲ止メ。外出ヲ禁シ。其家ハ。次ノ相續人ニ命シテ相續セシム。

第六條 凡ソ懲戒ノ輕重ハ。其事情ヲ酌量シ。宮内卿之ヲ審案具狀シ。制可ヲ得テ。然後施行ス。

第七條 凡華族ノ犯罪。法律ニ係ルモノハ。裁判官ノ處刑ヲ經シ。後宮内卿。其輕重ヲ酌量シ。事宜ニ應シ。仍ホ懲戒ヲ加フルル。例ノ如シ。

○遺失物取扱規則 九年四月十九日。第五十六號御布告ヲ以テ制定シ。同日。第五十五號御布告ヲ以テ。新律綱領。得遺失物律ヲ改正シ。改定律例第二百八十二條。第二百八十三條。第二百八十四條。第二百八十五條。第二百八十六條ヲ刪除ス。

第一條 凡ソ遺失物ト稱スルハ。自ラ其遺失スルヲ覺ラス。及ヒ其所在ノ明カナラサルモノヲ云フ。故ニ若シ其物ヲ得ルニ臨テ。物主。其場ニ就テ。其主タルヲ證明スルニ於テハ。直ニ之ヲ返還シ。遺失物ヲ以テ論スルヲ得ス。

第二條 凡遺失ノ物ヲ得レハ。五日內ニ其主ニ還シ。其主分明ナラザレハ。之ヲ官ニ送ルヘシ。官之ヲ榜示シ一年內。其主ナキハ。之ヲ得者ニ給ス。

第三條 凡遺失物ハ。其遺失スル物品ノ摸樣員數。並ニ遺失ノ日時場所等ヲ。可成丈ケ詳細ニ記載シ。速ニ官ニ届出ヘシ。但得者ヨリ。其返還ヲ得ル片モ。亦更ニ其旨ヲ届ケ出ヘシ。

第四條 凡遺失ノ物ヲ得レハ。之ヲ其主ニ還スト雖モ。其費用ヲ償ハシムルヲ得。且得者ニ報勞ノ爲メ。其物價百分ノ五ヨリ少カラス。二十

ヨリ多カラサル金圓ヲ給スヘシ。若シ物主得者ト其價格ヲ爭フハ官
之ヲ評價人ニ托シテ其價ヲ定ム。

第五條 凡遺失物ヲ得ルニ物品盜賊ニ係ルモノハ直ニ官ニ送ルヘシ。官
之ヲ其主ニ還シ止メ其費用ノミヲ償ハシム。

第六條 凡官私ノ地内ニ於テ埋藏ノ物ヲ掘得ル者ハ並ニ官ニ送リ地主
ト中分セシム。但其主分明ナルモノ。及ヒ盜贓ニ係ルモノハ此限ニアラ
ス。

第七條 凡遺失ノ物ヲ得ルニ若シ其物耐久シ難クシテ其主分明ナラサ
ルハ迅速ニ之ヲ官ニ送ルヘシ。官之ヲ公賣シ其代價ヲ領置シ。榜示シ
テ處分スルヲ第二條ノ如シ。

第八條 凡家畜ノ類他所ニ逃走スルモノハ之ヲ遺失物ト稱スルヲ得ス
ト雖モ其主ヨリ之ヲ官ニ報シ及ヒ得者ニ其費用ト報勞金ヲ給與スル

第三條第四條ニ同シ。若シ他人ノ財産ヲ毀損スルハ律ニ照シテ處
分ス。

第九條 凡逃走スル畜類ヲ得タル者其主分明ナラサレハ之ヲ官ニ送ル
ヘシ。若シ八日内其主ナケレハ官之ヲ公賣シ得者ニ其費用ヲ償ヒ仍ホ
代金ノ餘剩アルモノハ之ヲ官ニ領置シ。榜示シテ處分スルヲ第二條ノ
如シ。

第十條 凡遺失物及ヒ逃走畜類ノ官ニ係ルモノハ官ヨリ得者ニ其費用
ト報勞金ヲ給スルヲ私物ニ異ナルヲナシ。

第十一條 凡警察官吏タル者ハ所部ノ内外ヲ問ハス遺失物ヲ得レハ速
ニ之ヲ官ニ送リ全ク其主ニ還付シ其主ナケレハ之ヲ官ニ没ス。

第十二條 凡一切應禁ノ物ヲ得レハ遺失及ヒ埋藏ヲ論セス。並ニ官ニ没
ス。

第十三條 凡公私債證書。地券諸鑑札等ノ類ハ。遺失物ヲ以テ論スルヲ得
スト雖モ。物主ハ得者ニ。其費用ヲ償フヘシ。

第十四條 凡遺失物。及ヒ逃走畜類ヲ得。若クハ埋藏物ヲ掘得テ。官私ニ全ク
送還セス。或ハ物主ノ其主タルコトヲ證明スルニ。冒認シテ返却セサル者
ハ。並ニ律ニ照シテ處分ス。

○斷罪證據 九年八月二十八日司法省ヨリ大審院
各裁判所裁判所ヲ置サル各縣へ達書

第一 被告人眞實ノ白狀

第二 被告人又ハ其他ノ文通。又手筆ノ文書。

第三 相當官吏ノ檢視明細書。

第四 證左。及參考ノ陳述。

第五 裁判所ヨリ任シタル鑒定人ノ報告。

第六 證據物品

第七 徵驗(佛語アnichス)事實ノ推測(佛語プレソンプションドプエー)
顯迹佛語エウイダンス)

第八 法ノ推測(佛語プレソンプションレガル)

前件ノ證據ニ依リ罪ヲ斷スルハ。専ラ裁判官ノ信認スル所ニアリ。

增新律綱領附錄終
補改定律例

新律綱領 改定律例 ○附錄

明治十一年一月十六日官許
明治十一年二月廿五日出版

定價金九十錢

出版人

竹原 鼎



東京第一區九小區
加賀町十八番地

北畠茂兵衛

東京日本橋通二丁目

山中市兵衛

東京芝三島町十番地

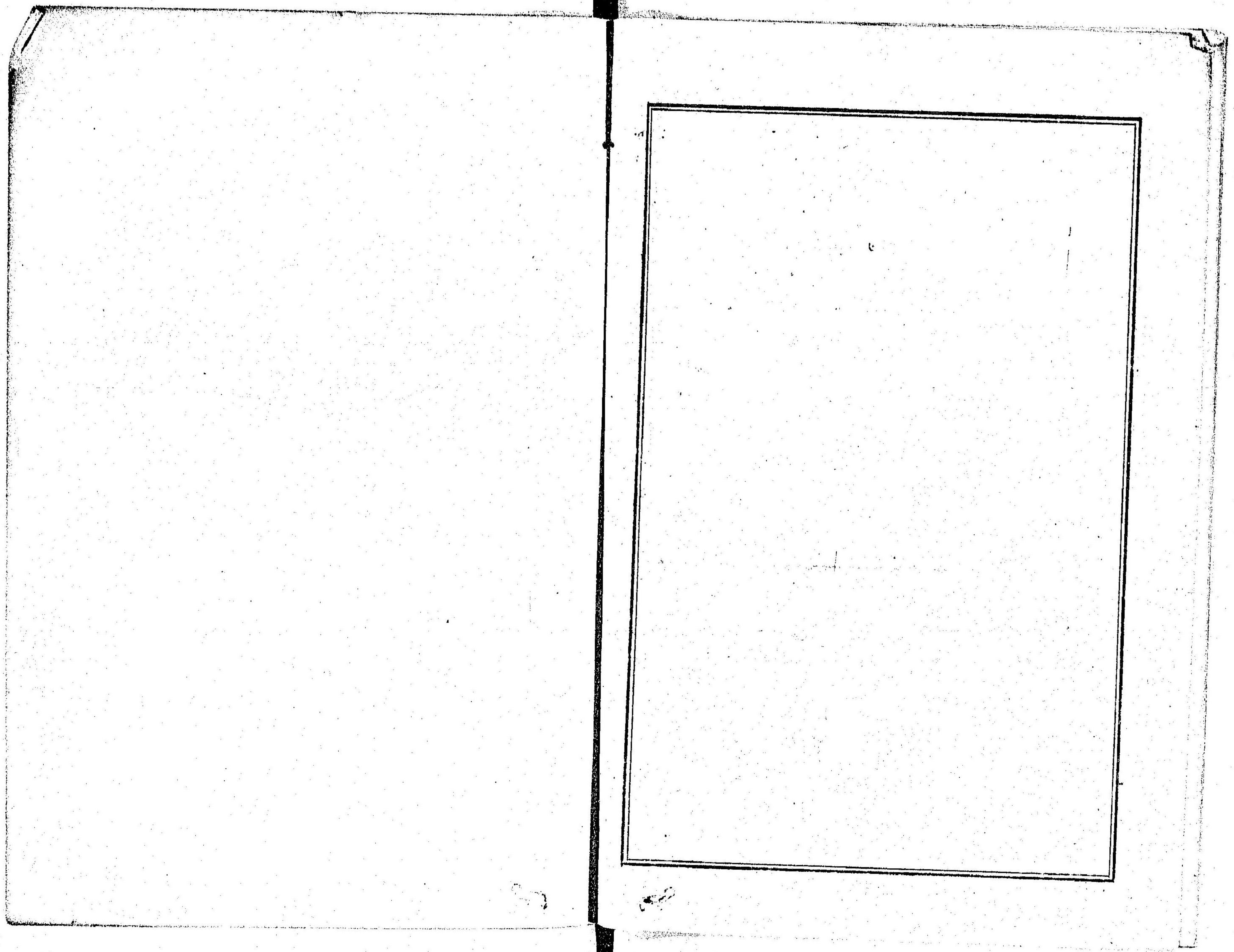
博聞社

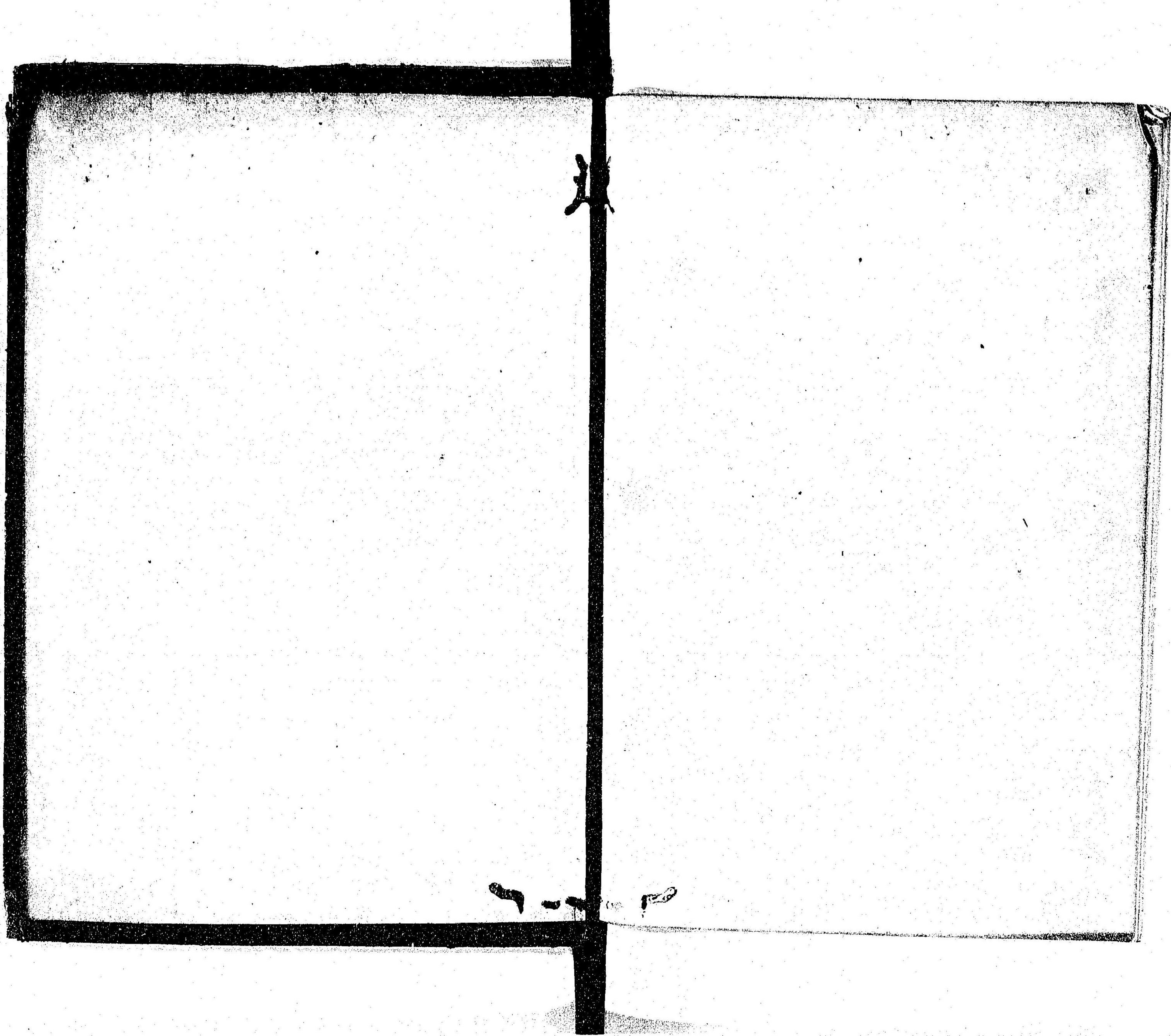
同銀座四丁目十六番地

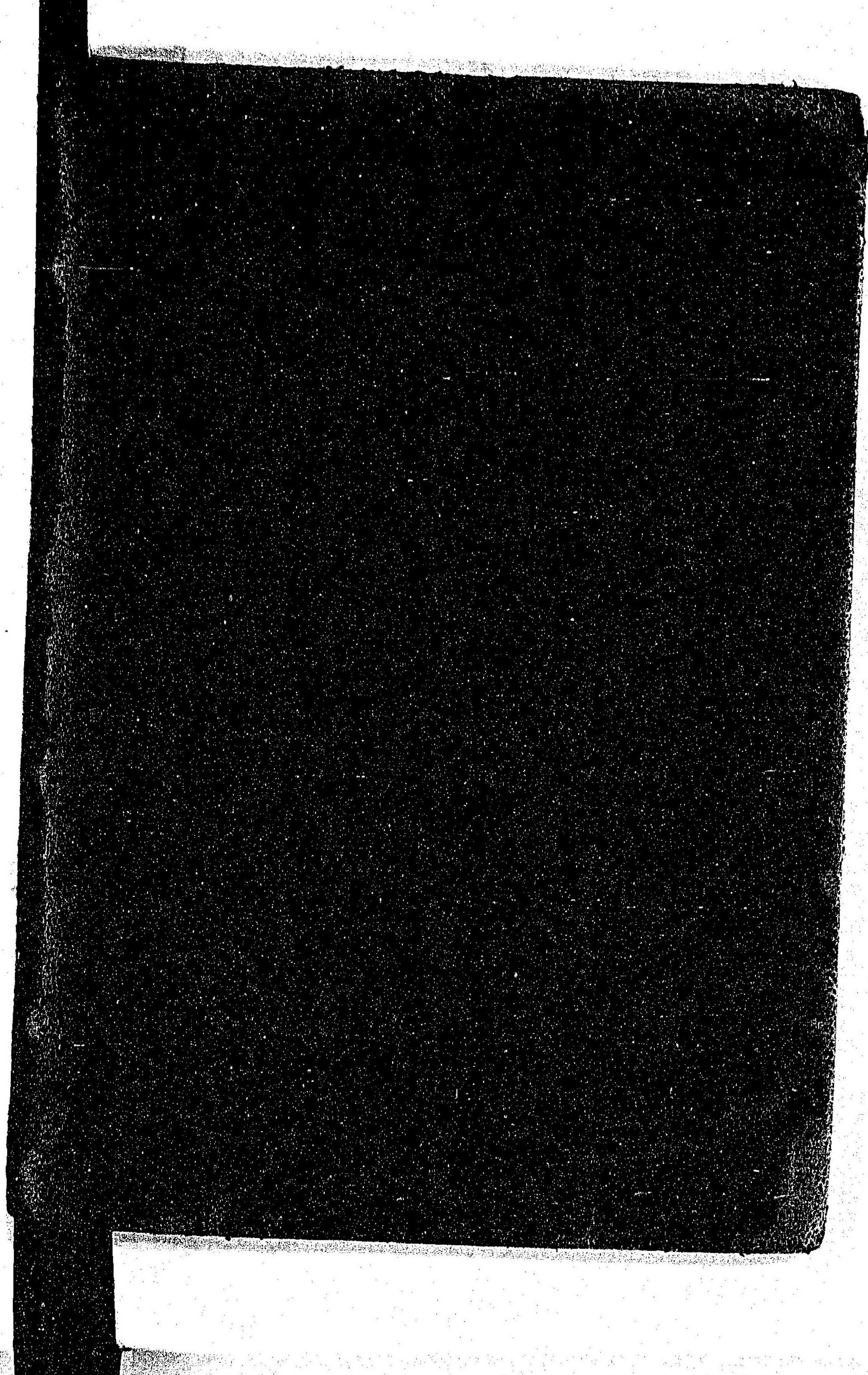
平川吉兵衛

同芝三島町二番地

新律細領 改定律例 ○附録







036267-000-2

CZ-711-038

新律綱領, 改定律例, 改正条例 对比 (增補)

竹原 鼎 / 等刊

M11

BBP-0987



